

## 1 事業報告とその成果

### DV 被害者支援及びシェルター運営事業

- ① 電話相談 484 件、面接相談 188 件、同行支援 119 件実施した。内部研修を実施し支援の充実を図った。
- ② 国の寄り添いホットラインに参加 月 2 回～3 回一般電話と被災地からの女性の相談に応じた。  
被災地 17 件 全国相談 417 件 合計 434 件
- ③ シェルターに年間 26 組、大人 27 人、子ども 30 人を保護した。本年度は委託の件数が 8 件と激減したが、委託以外の保護件数が 18 件であり、利用日数の総計としては、522 日となった。
- ④ 県の委託事業である心のサポート事業は継続されたので、利用者へのカウンセリングや保育を実施することができた。シェルター滞在中の心のケアを充実させることができた。
- ⑤ 藤枝滯子基金の助成により、5 月 9-10 日、23-24 日に 4 日間連続の DV 被害者支援者養成講座を開催した。  
参加 30 人。
- ⑥ 神戸市の委託事業で DV 被害者支援者養成講座を 2016 年 2 月～3 月に実施した。参加者 48 人。  
当団体で活動しない場合でも、DV に理解のある人が地域に一人でも増えることは、社会を変えていく力となると信じている。
- ⑦ シングルマザーの元気が出る講座は今年で 9 年目である。仲間に出会えてよかったと、見違えるほど元気になった人も少なくない。安心できる唯一の居場所だとの声もある。母親への支援は子どもの支援に繋がる。DV から逃れてきた女性の多くが地域で孤立しているという厳しい現状がある。この会を通して女性たちが孤立感を解消し、信頼できる仲間を得ることは生活再建を支える力を育てることに非常に効果的であると実感している。特別なイベントとして、6 月にお泊り合宿、12 月はクリスマス会を開催。女性 70 人子ども 80 人の参加
- ⑧ DV 被害者の自助グループとして、月 1 回、コスモスの会を開催している。同じ経験した仲間と悲しみや辛さを共有できることが、参加者の孤立感を解消し、エンパワメント効果は非常に高いと担当者から聞いている。

### DV・デートDV 防止教育事業

- ① デートDV防止授業は今年度、県内の大学での授業は 11 校となった。また、高校は学校独自の実施は 9 校に留まった。ただ、神戸市、明石市、宝塚市、三木市、多可町では地元自治体の費用負担により 11 校で実施できた。中学校においても神戸市、明石市、西宮市、高砂市、三木市、加東市、西脇市、の自治体で同様に 29 校で実施できた。全体では、他府県（大阪、滋賀、京都、広島、香川）もあわせて、15,930 人に実施し、デートDV防止授業を始めた 2007 年度から 171,000 人を超えることとなった。

## DV 被害者生活再建事業

### 1、WACCA の運営—女性やシングルマザーと子どもたちの居場所—WACCA の運営事業

- ① 女性やシングルマザーと子どもたちの居場所として、立ち上げたWACCAも2年半が経過した。開設当初より、参加者も多くなり事業の数も増加した。その結果のべ3000人を超える方たちがWACCAに来られた。また新聞などマスコミに取り上げられる機会も増えた。(読賣、神戸、毎日新聞などに関連記事掲載)
- ② アイロンがけなどの就労準備支援は、少人数ながら週4回午前中実施した。フリーヘルプさんとの関係も維持しながら、就労研修として、1名がフリーヘルプの店頭での研修も行った。ヨガや体ほぐしなどのミニ講座も継続して実施している。
- ③ 子どもたちの学習支援は、WACCA塾として小学4年生から中学3年生まで毎週火金の5時から8時まで、学習ボランティアさんの協力を得て実施した。夏休みには神戸市の委託により生活困窮者自立支援学習支援事業として、「アスタ夏学習会」として15日間の夏期集中講座を実施した。3月の受験時には6名の受験生が高校受験に挑み、全員が合格し高校への入学を果たした。
- ④ 9月からは新しい事業として内閣府の地域における女性活躍推進事業の委託を受け、シングルマザーやシングル女性の学習支援事業や、女性と子どもの貧困を考えるシンポジウムを実施した。シンポジウムは120名を超える参加者があり大きな反響があった。また、女性たちの学習支援は、高校を中退した女性たちへの高卒認定試験を受験するための学習や、看護学校の受験のためのサポート、各種資格を取るための学習サポートなどを行った。シングルマザーのために一時保育もつけて、女性たちが安心して学習に取り組めるように支援した。結果、1名が看護師保健師国家試験合格、1名が看護学校に合格した。結果だけではなく、WACCAスクールはそこに集う女性たちがお互いに励まし合ったり、情報効果ができる場にもなった。
- ⑤ いずれの事業にも、支援して下さるボランティアの方たちの力は欠かすことのできない大きな力となっている。学習支援や一時保育にかかわって下さったボランティアの学生さんたちや社会人も、それぞれ就職や起業などで、次の一步を踏み出すことになったが、それぞれWACCAでの体験が、自信やエンパワメントにつながったと話していた。参加 女性延べ967人 小中学生 延べ1175人 ボランティア 757人

### 2、家庭訪問事業

神戸市委託事業は10月～3月で7世帯を月2回ずつ訪問を実施した。月2回訪問することが、孤立しがちな家庭、単身女性や母子のさまざまな悩みに寄り添う人がいることがとても心強いと言われた。精神的、経済的な問題について、必要があれば行政の担当者に繋ぐようにしていた。兵庫県も同様に、委託事業として、県内(神戸市以外に在住)の4家族の家庭訪問を月2回ずつ実施した。

### 3、「子ども元気ネットワークひょうごスタートプロジェクト」

認定NPO法人フードバンク関西、NPO法人フリーヘルプと協働して、をたちあげて、県内20カ所の母子家庭に毎月1回食糧支援、3か月に1回衣類の支援を行なった。当団体のこれまでの活動を通して繋がりのある母子家庭を対象としている。15世帯に実施した。共感寄付やソロプチミスト神戸から寄付金を頂くことが出来た。

# 2015年度 活動計算書(報告書)

2015年04月01日～2016年03月31日(決算)

## NPO法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ 特定非営利活動に係る事業の 会計

(円)

科目	金額		
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	380,000		
賛助会員受取会費	497,500		
受取会費計		877,500	
受取寄付金			
受取寄付金	6,206,265		
- 一般寄付金			
- 生活再建支援事業指定寄付金	1,614,800		
受取寄付金計		7,821,065	
受取助成金等			
受取地方公共団体補助金	254,310		
- 神戸市補助金(相談・付添い支援)			
- 神戸市補助金(緊急避難施設支援)	254,510		
- 兵庫県補助金(緊急避難施設支援)	240,000		
受取民間助成金	2,654,000		
- 緊急避難施設民間助成金			
- WACCA民間助成金	3,020,000		
- 赤い羽根共同募金	490,000		
受取助成金等計		6,912,820	
事業収益			
相談事業収益	87,061		
- 相談料			
付添い支援事業収益	8,000		
- 付添料			
女性の自助グループ開催支援事業収益	4,600		
- 参加料			
緊急避難施設運営事業収益	5,008,890		
- 受託料			
- 利用料	699,500		
生活再建支援事業収益(WACCA)	57,200		
- 利用料			
シングルマザー支援&仲間づくり講座事業収益	37,800		
- 参加料			
デートDV防止啓発事業収益	293,020		
- コーディネート料			
デートDV防止出前事業収益	200,000		
- 受託料			
- 出張講師料	32,640		
デートDV防止啓発授業実施事業収益	2,435,312		
- 出張講師料			
支援者養成講座開催事業収益	28,500		
- 参加料			
- 受託料	300,000		
神戸市学習支援事業収益	622,000		
- 受託料			
内閣府学習支援事業収益	3,483,046		
- 受託料			
情報提供事業収益	150,053		
- 資料代			
- コーディネート料	10,000		
交流会開催事業収益	20,000		
- 参加料			
事業収益計		13,477,622	
その他収益			
受取利息	1,294		
雑収益	150,590		
その他収益計		151,884	
経常収益合計			29,240,891
(2)経常費用			
事業費			
【人件費】			
役員報酬	1,200,000		
給料手当	5,738,635		
雑給	660,400		
【人件費計】		7,599,035	
【その他費用】			

# 2015年度 活動計算書(報告書)

2015年04月01日～2016年03月31日(決算)

## NPO法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ 特定非営利活動に係る事業の 会計

(円)

科目	金額		
ボランティア謝金	429,740		
諸謝金	4,445,762		
旅費交通費	3,502,159		
会議費	264,280		
通信運搬費	310,311		
食材費	291,000		
消耗備品費	54,286		
消耗品費	361,817		
事務用品費	50,752		
新聞図書費	238,534		
賃借料	282,348		
会場費	34,600		
保険料	14,872		
水道光熱費	484,071		
支払地代家賃	3,515,044		
支払手数料	286,928		
雑費	46,839		
減価償却費	184,919		
【その他費用計】		14,798,262	
事業費計		22,397,297	
管理費			
【人件費】			
役員報酬	1,200,000		
給料手当	484,800		
雑給	54,240		
法定福利費	549,239		
福利厚生費	14,320		
【人件費計】		2,302,599	
【その他費用】			
旅費交通費	232,380		
会議費	13,500		
交際費	125,181		
通信運搬費	313,221		
消耗備品費	23,377		
消耗品費	178,888		
事務用品費	149,078		
新聞図書費	29,490		
印刷製本費	599,400		
保険料	37,000		
水道光熱費	114,401		
諸会費	93,000		
支払手数料	252,094		
租税公課	370,931		
雑費	97,192		
減価償却費	126,000		
【その他費用計】		2,755,133	
管理費計		5,057,732	
経常費用合計			27,455,029
当期経常増減額			1,785,862
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益合計			0
(2)経常外費用			
経常外費用合計			0
当期経常外増減額			0
税引前当期正味財産増減額			1,785,862
法人税、住民税及び事業税	72,000		
当期正味財産増減額			1,713,862
前期繰越正味財産額			10,751,617
次期繰越正味財産額			12,465,479